



庶民の会
はやしだ つとむ
林田 勉 議員

コロナ禍… このピンチをチャンスに！ そして「変革のチャンス」に！！

Q 学習・学校生活はどこが変わった、どう変わる。

A 学校行事は可能な限り実施。教室での換気、マスク、手洗いなど感染防止対策を徹底しながら活動している。長期休業になればリモート学習もありえる。

市役所・行政事務について 脱ハンコ・IT化はどこまで 進んでいる

Q 現在、ハンコレスの状況は。

A 各種申請は免許証等で本人確認が取れるものは押印不要である。

Q 簡単な申請はインターネットからでもいいのではないか。

A 国の方針を持ってデジタル化に努めていきたい。

市の活性化・誘致と誘客

Q コロナ後は地方がキーワード、リモートワークやワーケーションオ

フィスなど誘致活動をすべきではないか。旧堀部邸を全国モデルに。

A サテライトオフィスの開設の支援制度があり、誘致活動中である。

Q コロナ後は観光が活発化すると思う。今、この時期こそ島原のPRをすべき、またロケツーリズムの推進を。

A 正月、全国ネットで2時間の島原紹介の特番が放送予定。ロケツーリズム関連での誘致につながった。

外出自粛、高齢化社会へ対応 買い物難民の解消として 移動販売(車)の推進・起業 支援はどうか

Q コロナ感染防止で移動販売が見直されている。起業者が現れた場合、支援ができるか。

A 若い人が隙間産業をやるうとする際の支援の可能性はある。

市や各種団体の行事

Q 各種行事がコロナで中止や延期である。この際、一度白紙の状態から目的、効果、時期、共催など、新しい盛り上げを考える機会だと思いませんか。

A 市主催行事など目的や効果を検証する良い機会。盛り上がる行事になるように検討していきたい。



実践クラブ
もりぞの こうたろう
森園 浩太郎 議員

新型コロナウイルス感染症 対策

Q 本市における今後の対応は？

A 経済活動と予防の両立が難しく答えが出しにくい状況。今後も拡大状況を注視し、国、県の施策を踏まえ必要な措置を講じていきたい。

Q 新型コロナウイルス抗体検査キットの活用を検討は？

A イベント等での活用を検討している自治体もある。国の三次補正予算の臨時交付金など財源があれば活用は視野に入ってくる。

市勢振興計画

Q 移住・定住の促進について。コロナ禍で従来のやり方は変わっていくのか。

A オンラインでの相談会を開始。ワーケーション施設の整備等による新規移住希望者へのPR。関係機関とも引き続き連携し、促進に努めたい。

Q 空き家対策について。把握して

いる市内の空き家件数は？空き家バンクの登録件数は？

A Aランク303戸、Bランク85戸、Cランク13戸、Dランク27戸の計428戸。空き家バンク登録件数は累計で27件。

Q バンク登録を増やす対策は？

A ホームページやSNS、広報紙、町内会の回覧のほか、不動産業者とも連携して、登録件数の増加を図りたい。

Q 都市計画道路の親和町湊広場線と安徳新山線の整備期間、信号機設置を含む親和町湊広場線のひょうたん池公園入口交差点改良の進捗状況は？

A 親和町湊広場線は令和11年度、安徳新山線は令和8年度の完成予定。ひょうたん池交差点部分から土地評価や建物調査を行っており、用地交渉に着手予定。用地取得後は先行して交差点改良工事予定。その際、県公安委員会でも信号機を設置する予定と聞く。

【その他の質問項目】

◇地方創生臨時交付金一次・二次補正の成果は？

◇Nナビの活用状況や移住支援金の実績は？

◇古民家活用とワーケーションについて